

## 嬉野市監査委員告示第1号

地方自治法第199条第9項の規定に基づき、令和7年度定期監査（学校監査）結果を次のとおり公表する。

令和8年3月4日

嬉野市監査委員 三根 清和

嬉野市監査委員 大久保 正人

### 1 監査対象校

久間小学校、嬉野小学校、吉田中学校、塩田中学校

### 2 監査実施日

令和8年1月19日、20日

### 3 監査範囲

令和7年4月1日から令和7年12月31日までに執行された事務事業

### 4 監査方法

監査の実施に当たっては、予算の執行状況、予算執行に係る事務処理、備品等の管理状況及び学校等施設の目的外使用に係る事務等について、各監査対象校及び所管課から提出された関係資料に基づき、関係職員から説明を聴取して監査した。

また、工事、修繕箇所及び備品等の管理状況については、現場での確認を担当者の立会いのもと実施した。

### 5 監査結果

#### (1) 予算の執行状況

監査対象4校とも、年度内の予算執行が計画的に進められており、執行に遺漏はなく、概ね良好であると評価した。

#### (2) 営繕等

学校施設においては、鉄骨部分の錆の発生や廊下の板材の劣化が確認されたため、計画的な修繕を検討されたい。

(3) 備品等の管理状況

備品台帳については、備品番号の記載がないものが見受けられたため、備品番号を確実に記入できるよう、様式の工夫を検討されたい。備品管理については、不要な備品は処分が行われ、体育倉庫等も適切に整理されており、いずれの学校においても概ね良好であると認められた。ただし、一部の校庭には使用されていないと判断できるものが見られ、早急に適切な処分をされたい。

(4) 薬品等の管理状況

理科で使用する薬品の保管については概ね適切に行われていたが、薬品台帳に、薬品区分、取得年月日、使用目的などの記入漏れが見られた。一つの薬品を複数保有している場合には、各個の重量を記載し、複数名で確認を行っている場合には、把握できるようその証左の記入を行うこと。全学校で台帳様式の統一を検討されたい。

薬品庫において、耐震対策の不備が確認されたため、早急に必要な対策を講じられたい。

(5) 学校等施設の目的外使用に係る事務

学校等施設の目的外使用については、申請受付時に使用許可条件の確認が行われ、必要な確認書類も添付されていた。また、使用料の減免についても適切に確認されており、概ね良好な状況であった。

(6) 学校施設の警備の状況

警備会社からの巡回点検報告書には「施錠忘れ」等の指摘が見受けられた。戸締りを含む施設管理について、引き続き徹底されたい。

(7) 公用車運行日誌の状況

運転者の酒気帯びの有無については、アルコール検知器による確認に加え、校長・教頭による確認も実施されており、その結果は運転日誌に確実に記録されていた。日時、運転者、行先についても適切に記録され、運行管理が適正に実施されていた。今後も公用車の適正な維持管理と安全な運行に努められたい。

(8) 遊具の管理状況について

遊具については、専門業者の年1回の検査結果に基づき、適正かつ安全な管理が行われていることが確認できた。しかし、軽微ではあるものの鉄部金属の

劣化が目立つ遊具が多く見受けられるため、適切な対策を講じられたい。遊具は経年劣化による老朽化が進む傾向にあることから、安全性に十分配慮し、計画的な修繕および更新を検討されたい。特に C 判定の遊具（修繕または対策が必要なもの）や、使用しない遊具については、使用禁止の表示を明確に行い、テープ等により利用できない状態であることを周知されたい。

## 6 まとめ

各監査対象校においては、校長の知恵袋事業などを活用し、特色ある学校運営がなされていることが確認された。いずれの学校においても、児童生徒の自己肯定感の向上に向けた取組をはじめ、学力向上と豊かな心を育む教育に力が注がれており、熱意をもって学校教育の推進が図られている。また、コミュニティスクール等を通じて地域住民と連携した学校運営が行われ、交通安全対策やバリアフリー対策にも取り組まれている。さらに、児童・生徒の安心・安全管理や衛生管理においては、教職員の不断の配慮と努力がうかがわれた。

監査結果については前述のとおりであるが、遊具等の安全管理や、経年劣化により老朽化した設備については、早期に対応し適切な工夫をもって改善に努められたい。

校舎においては、鉄骨部分の錆の発生が見受けられ、廊下の板材には著しい劣化箇所も確認された。これらについては、早期の修繕および計画的な改修を検討されたい。また、体育館の空調設備についても、健康管理の観点や災害時の対応を踏まえ、その必要性が高いと考えられる。

前回監査で指摘された事項については概ね改善が確認され、一部に未改善の点は残るものの、全体としては良好な状況であると判断された。

最後に、将来「歓声が響きあう嬉野市」を担う心豊かでたくましい「嬉野っ子」を育成するため、学校、家庭、地域の連携を深めながらそれぞれの教育機能を十分発揮し、子供たちの「確かな学力・豊かな人間性・健康な体」の習得に尽力されたい。